

多 度 津 町 経 済 動 向 調 査

《第 4 四半期(2020年1-3月) 調査結果》

1. 調査期間 令和2年3月2日～17日

2. 調査対象 会員 40 企業に調査票配布 (回収企業 31 回収率 77.5%)

	製造	建設	卸売	小売	サービス
調査対象	12	9	4	7	9
有効回答	10	7	3	6	5

3. 調査項目 今期(2020.1～3月)を基準に前年同期比、来期予測を今期比にて業況・売上高・採算・仕入単価・販売単価・従業員・資金繰りの項目について調査。

※DI指数は、景況判断状況を表すもので増加・好転などの回答割合から減少、悪化などの回答割合を差し引き、ゼロを基準としてプラス値で景気の上向き、マイナス値で景気の下向きを表す。

(仕入単価は下落－上昇、販売単価は上昇－下落、従業員は、不足－過剰の割合を差し引いて判断)

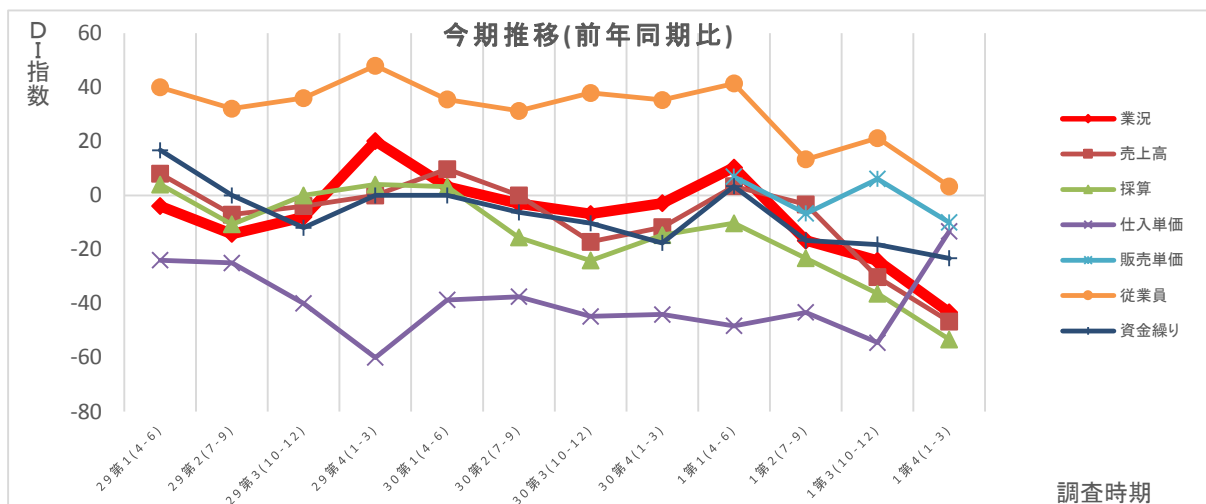
※調査項目の販売単価については2019年第1四半期調査より追加して実施。

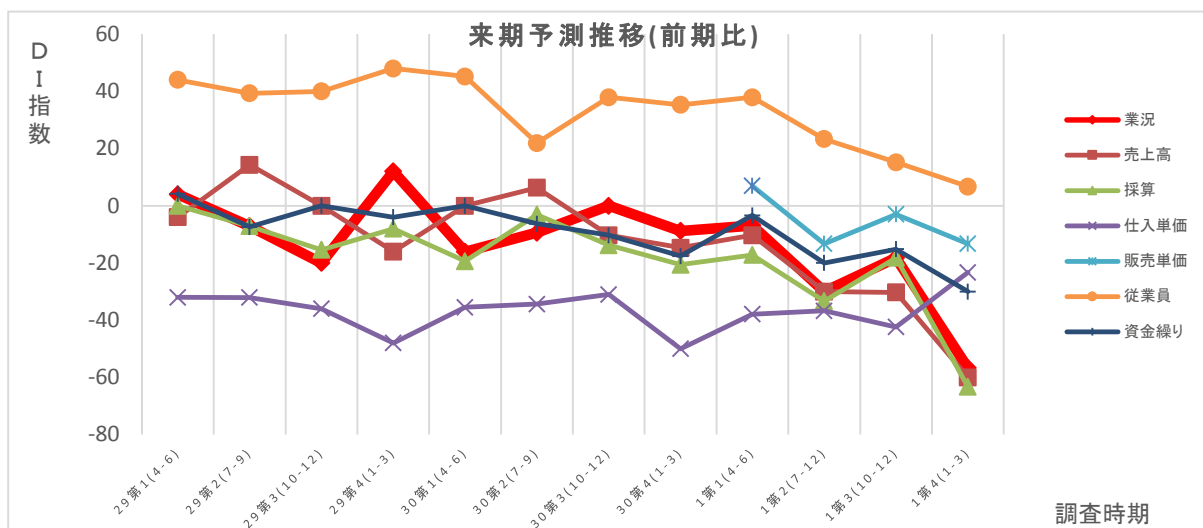
4. 全産業(DI指数分析)

業況は、3期連続の悪化。今期、新型コロナの影響から大幅に悪化。先行き(来期)見通しも新型コロナの影響拡大を懸念し悪化を見込む。

業況DI▲43.3(前期比-19.1ポイント)、売上高DI▲46.7(前期比-16.4ポイント)、採算DI▲53.3(前期比-16.9ポイント)、仕入単価DI▲13.3(前期比+41.2ポイント)、販売単価DI▲10.0(前期比-16.1ポイント)、従業員DI3.3(前期比-17.9ポイント)、資金繰りDI▲23.3(前期比-5.2ポイント)。

先行きの見通し(来期予測)の業況DI▲56.7(今期比-13.3ポイント)。売上高DI▲60.0(今期比-13.3ポイント)、採算DI▲63.3(今期比-10.0ポイント)、仕入単価DI▲23.3(今期比-10.0ポイント)、販売単価DI▲13.3(今期比-3.3ポイント)、従業員DI6.7(今期比+3.3ポイント)、資金繰りDI▲30.0(今期比-6.7ポイント)の結果となった。



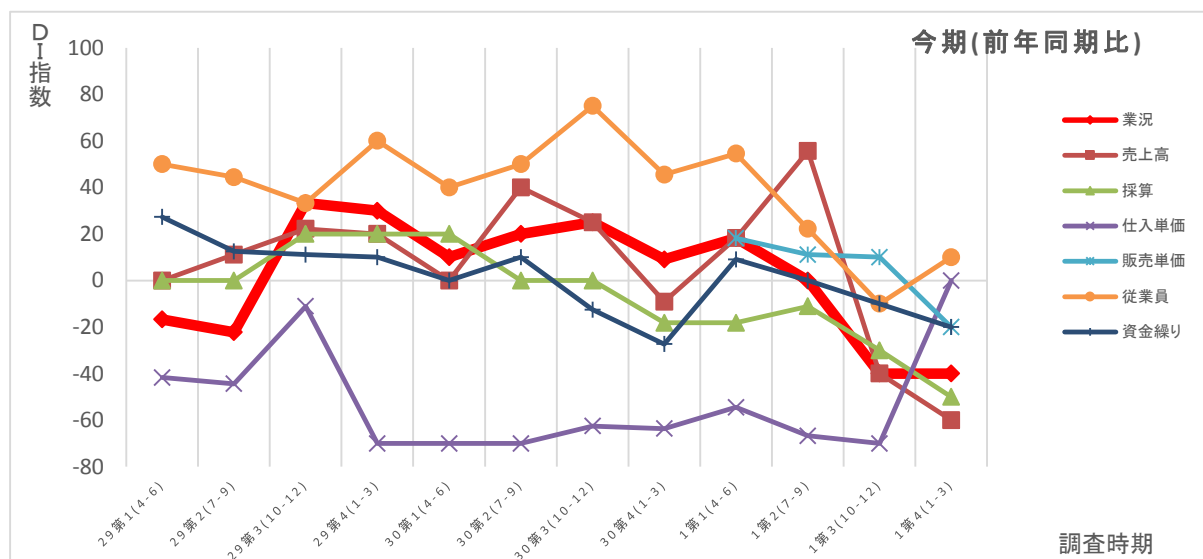


5. 業種別 (DI指数分析:前期比)

製造業 → 業況DI▲40.0(前期比+0ポイント)。

売上高DI▲60.0(前期比-20.0ポイント)、採算DI▲50.0(前期比-20.0ポイント)、仕入単価DI0(前期比+70.0ポイント)、販売単価DI10.0(前期比-1.1ポイント)、従業員DI▲10.0(前期比-32.2ポイント)、資金繰りDI▲10.0(前期比-10.0ポイント)。

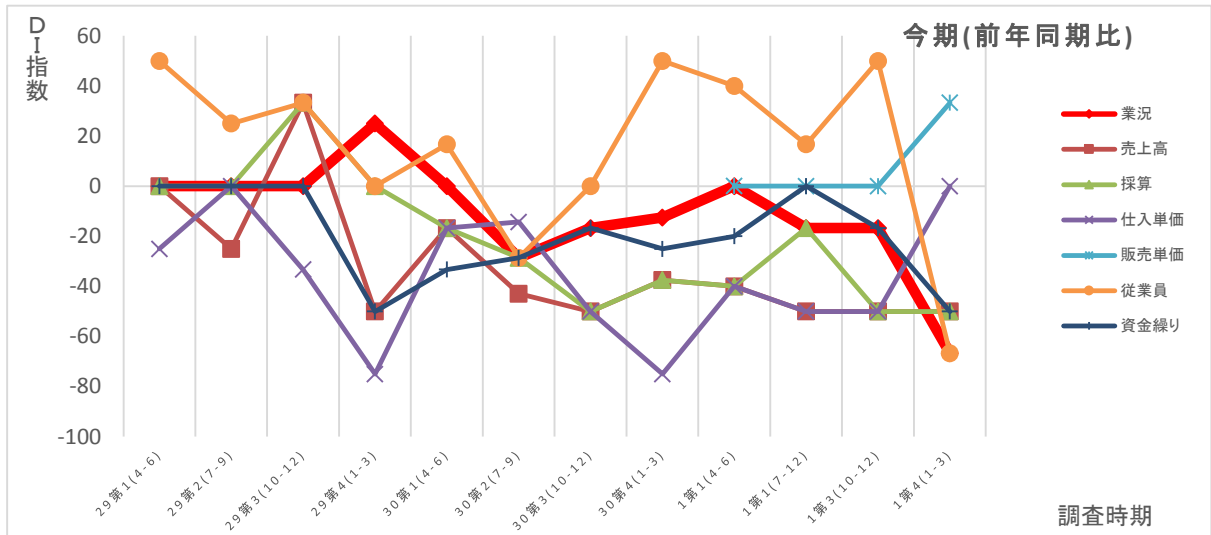
先行き(来期)見通し、業況DI▲60.0(今期比-20.0ポイント)悪化を見込。



建設業 ↓ 業況DI▲66.7(前期比-50.0ポイント)。

売上高DI▲50.0(前期比+0ポイント)、採算DI▲50.0(前期比-33.3ポイント)、仕入単価DI0(前期比+50.0ポイント)、販売単価DI33.3(前期比+33.3ポイント)、従業員DI▲66.7(前期比-83.3ポイント)、資金繰りDI▲50.0(前期比-16.7ポイント)。

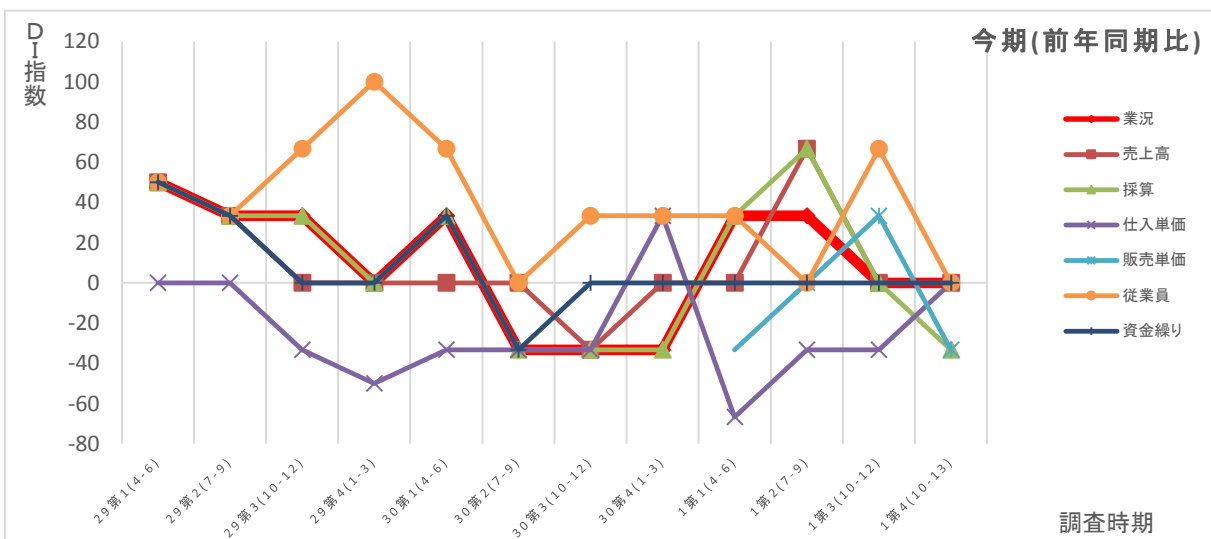
先行き(来期)見通し、業況はDI▲66.7(今期比+0ポイント)横ばいを見込。



卸売業 → 業況DI0(前期比+0ポイント)。

売上高DI0(前期比+0ポイント)、採算DI▲33.3(前期比-33.3ポイント)、仕入単価DI0(前期比+33.3ポイント)、販売単価DI▲33.3(前期比-66.6ポイント)、従業員DI0(前期比-66.7ポイント)、資金繰りDI0(前期比+0ポイント)。

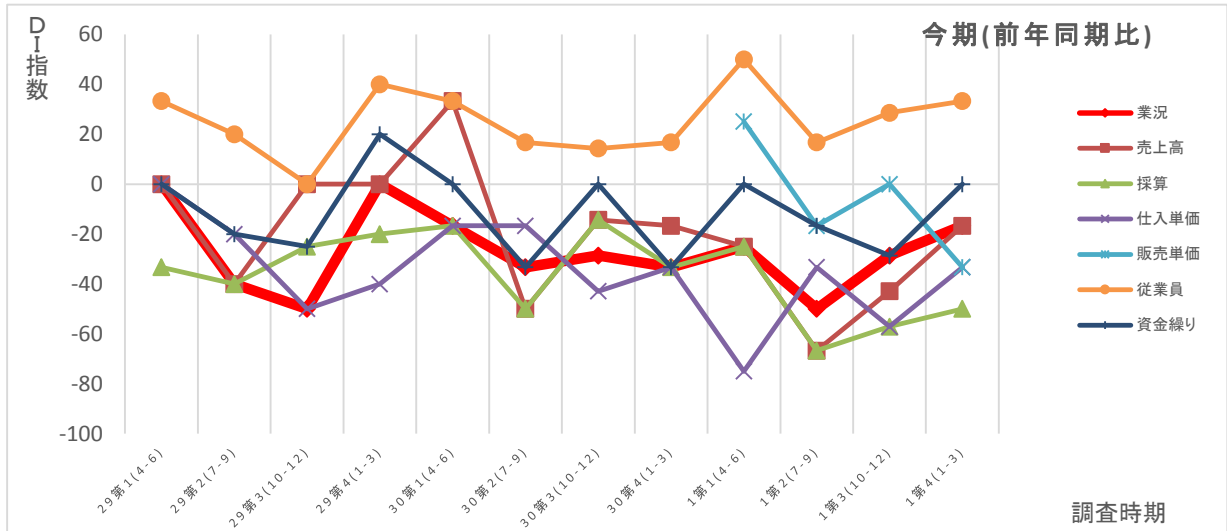
先行き(来期)見通し、業況DI▲33.3(今期比-33.3ポイント)と悪化を見込。



小売業 ↑ 業況DI▲16.7(前期比+11.9° イト)。

売上高DI▲16.7(前期比+26.1° イト)、採算DI▲50.0(前期比+7.1° イト)、仕入単価DI▲33.3(前期比+23.8° イト)、販売単価DI▲33.3(前期比-33.3° イト)、従業員DI33.3(前期比+4.7° イト)、資金繰りDI0(前期比+28.6° イト)。

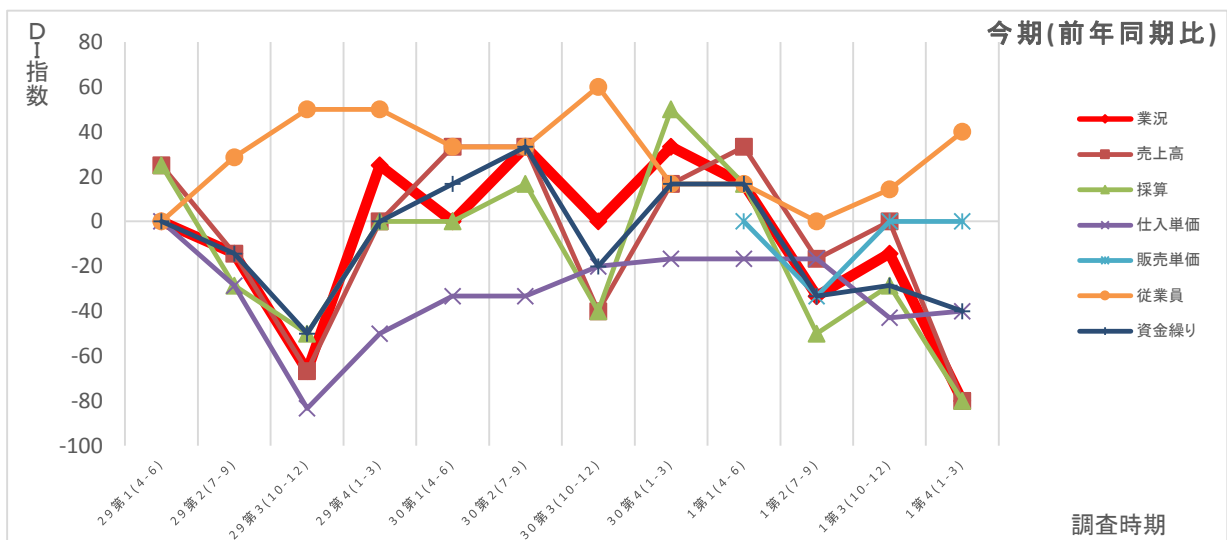
先行き(来期)見通し、業況DI▲16.7(今期比+-0° イト)と横ばいを見込。



サービス業 ↓ 業況DI▲80.0(前期比-65.7° イト)。

売上高DI▲80.0(前期比-80.0° イト)、採算DI▲80.0(前期比-51.4° イト)、仕入単価DI▲40.0(前期比+2.9° イト)、販売単価DI0(前期比+-0° イト)、従業員DI40.0(前期比+25.7° イト)、資金繰りDI▲40.0(前期比-11.4° イト)。

先行き(来期)見通し、業況DI▲100(今期比-20.0° イト)悪化を見込。



【業況感等コメント】

- 新型コロナウイルスの感染拡大による人、モノの停滞感が今後影響してくるものと予想される。
(金属製品製造)
- 日本人の新卒・中途採用ともに雇用できない(工場、営業所とも)製造は日系外国人の研修、実習生でなんとか補うことができているが、数年後は管理者が不足するものと思われる。
(食品製造)
- 新型コロナウイルスcovid19の影響により営業活動に支障が生じるとともに住宅着工も遅延し、非常に厳しい状況となっている
(木製品製造)
- (新型コロナウイルスの影響からお客が激減)現状どうしようもない。
(飲食サービス)
- 新型コロナウイルスの影響で中国向け製品の出荷延期となり今期への売上計上ができなくなったことで今期売上減少に伴い減益となる。また、いつ頃終息に向かうのか現地点では不明なため、出荷の見込みがたたないことが大きな問題である。
(金属機械製造)
- 働き方改革による同一労働、同一賃金の施行と新型コロナウイルスの影響により業況悪化。
(人材派遣サービス)